

**2名の教育委員会委員の選任に同意**

**町村議会広報委員全国研修会**  
(令和6年9月25日ニッショール)

3人の講師による広報紙づくりの全国研修会に参加してきました。

最初の講師は元行政職員の中本正樹氏で、「読まれる議会広報紙の作り方」は読んでいただく住民側の視点で作ること。

2人目は広報アドバイザーの平本久美子氏は「パッと伝わる広報紙にーやっつてはいけないデザイン講座」読みやすい紙面にするためのポイント、本文と見出しの文字の文字サイズ、イブの比率が重要であること。

最後は埼玉県寄居町議会広報委員長の鈴木詠子氏は「読まれない議会だよりに出す意味なし」と題し寄居町議会の取り組み内容でした。今回の研修で学んだことを重視し町民の皆さんに読んでいただくための紙面づくりに努めます。



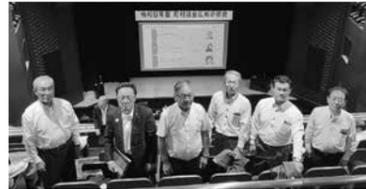
ぬまざわ ひろみ 沼澤 寛美氏 (一の関)

任期は 令和6年10月1日より 令和10年9月30日まで



ぬまざわ ひらく 沼澤 啓氏 (舟形1)

任期は 令和6年10月1日より 令和10年9月30日まで



読みやすい紙面づくりを学ぶ

28日	舟形ほほえみ保育園運動会
25日	町村議会広報全国研修会
24日	議会広報常任委員会
21日	舟形町模範議会
19日	敬老祝賀式
12日	議会広報常任委員会
4日	第3回定例会(11日)
9月	
30日	令和6年第2回臨時会
28日	議会運営委員会
26日	総務文教常任委員会行政視察(北海道)
24日	猿羽根山相撲大会
22日	町村議会議長・事務局長中央研修会及び県関係国会議員との懇談会(東京都)
21日	議会運営委員会
14日	舟形町二十歳の祝賀式
2日	全員協議会
1日	総務文教常任委員会所管事務調査
8月	
30日	令和6年度町村議会意見交換会(山形市)
24日	議会改革特別委員会(模擬議会リハーサル)
22日	令和6年度知事と町村議会議長との意見交換会(山形市)
17日	令和6年度町村議会広報研修会(山形市)
16日	第41回山形県町村議会議長会(山形市)
10日	議会広報常任委員会
7月	
10日	議会広報常任委員会
16日	令和6年度町村議会議長との意見交換会(山形市)
17日	令和6年度町村議会議長との意見交換会(山形市)
22日	令和6年度町村議会議長との意見交換会(山形市)
24日	令和6年度町村議会議長との意見交換会(山形市)
30日	令和6年度町村議会議長との意見交換会(山形市)

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

### 議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問合せ：舟形町議会事務局 32-0030 gikai@town.funagata.yamagata.jp

**表紙のふながた**

議会だより「ふながた」は昭和50年11月に第1号が創刊されて以来、50年が経過し本号は200号になりました。

7月25日からの豪雨による被害状況は町道59カ所、町管理河川13カ所、農地83カ所、農業用施設92カ所、林道8カ所、その他水道や農集排、下水道施設、建物全壊3棟、床上浸水11棟、床下浸水19棟、墓地損壊1団地など大きな被害を受けましたが、国県の支援、補助をいただき復旧復興に向けた取り組みを行っておりま

(荒澤 広光 撮影・記)

次回の定例会は 12月上旬に開催される予定です。

### 総務文教常任委員会所管事務調査報告

1. 期 日：令和6年8月1日(木)

2. 調査内容：教育課の主要事業

(1) B&G海洋センターの老朽化に伴う今後の予定について

○舟形町B&G海洋センター運営実績とB&G財団修繕助成について

①助成率上限：70%以内  
(内訳：特A最大助成率60%以内、加算分10%)

②15年連続特A評価優遇について

・1センター1回に限り、大規模改修を実施する場合に優遇措置として5,000万円の助成支援が受けられる。

・舟形町の評価は、12年連続「特A」評価で継続中

③舟形町B&G海洋センターの今後の予定について

・15年連続特A評価での優遇措置助成事業の活用を見据え、舟形中学校の移転と併せ、B&G海洋センター施設の改修と現舟形中学校の利活用も含め、町民ニーズと時代に沿った町スポーツ施設の拠点として総合的に検討していく。

【所感】

12年連続で特A評価され、15年連続特A評価まで継続して優遇措置を受けられるように今後も取り組んでいきたい。耐用年数に応じて改修工事にも必要になるが中学校の移転の施設の利

### 新たな保育体制に期待

活用については地権者とのしっかりと意見交換をし負担軽減に着手していくことが重要である。

(2) 舟形ほほえみ保育園の運営方針(未満児保育も含む)について

①舟形ほほえみ保育園の保育方針

ア、保育理念：かしこく 元気で 思いやりのある子ども 知徳体が調和し、共に生きる力をもった子ども

イ、めざす子ども像

舟形町学校教育指導の重点「舟形町ヴィーナスプラン」を参考

②「遊び」を通して目指す「知育目標」の設定について【新規】

この度、ほほえみ保育園において、年少児・年中児・年長児の終わりまでに育みたい基礎的な知育目標を設定します。なお、このことについては保小連携により、小学校と情報を共有しながら適切に進めてまいります。

【所感】

今の時代は多様性が求められています。幼児教育は、人間形成の基礎を培う役割を担っており、幼児期の「遊び」は、学びの原点である考えのもとに取り組むことは大変評価致します。今後成長していく子供たちの未来に期待します。

### 産業振興常任委員会所管事務調査報告

1. 期 日：令和6年6月27日(木)

2. 調査内容：令和6年度 所管各課の主要事業

○まちづくり課

(1) 舟形町総合発展計画(後期短期アクションプラン)策定事業について

(2) 住民主体の地域づくり支援事業について

(3) 公共交通事業(デマンド型乗合タクシー)について

○地域整備課

(1) 東北農林専門職大学総合プロジェクト事業について

(2) 地域強靱化対策事業について

(3) 町道福寿野岡矢場線道路改修事業について

○農業振興課

(1) 鳥獣被害対策事業について

(2) 「産直まんさく」の組織・運営状況について(説明後まんさくにて現地調査実施)

3. 課 題

(1) まちづくり課

### 今年度主要事業内容・計画の説明

①短期アクションプラン前期で目標未達項目について、後期は目標達成に向けた見直しプランの策定が必要である。

②町民の足の確保については、デマンドタクシーにとらわれず、公共の移動手段の確保の検討が必要である。

(2) 地域整備課

①令和5年度に完成した1号棟を視察したが、雪対策等での指摘改善内容が、今後建設されるアパートに織り込まれているかの確認する必要がある。

(3) 農業振興課

①新たに開店した「産直まんさく」は、お客様目線を重視した経営の取り組み、早期の安定化、黒字化が課題である。

4. 今後の進め方

所管する各課が説明した主要事業については、9月末頃「主要事業の進捗状況」、年度末(2月末頃)には、「主要事業の成果」について説明を受けます。

各課の主要事業については、年間を通した所管事務調査を行っていく。

### 総務文教常任委員会行政視察

1. 期 日 令和6年8月27日(火)

2. 目 的 国宝土偶の保存活用の取組を資するための公共施設について意見交換

3. 視察場所 北海道：公共施設「函館市縄文文化交流センター」

4. 視察概要

(1) 函館市縄文文化交流センターを整備するに至った経緯

①平成16年12月に3町1村と合併し主要施策の1つとして中土土偶などの出土品の保存展示施設や遺跡公園を整備することとされた。

ア、建設費：6億7400万円(平成18年度～平成23年度)

「巨ノ島遺跡・縄文文化交流センター」と一体になった「道の駅」として整備。

イ、国宝土偶を展示・収蔵するための施設等の指定管理費：4900万円

【所感】

函館市縄文文化交流センターの整備規模について、コンパクトな展示施設で、施設規模としては、最適な整備内容と感じた。視察、検討の上、早めに着手すべきである。



国宝「中土土偶」